

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和7年8月21日（木）、次のとおり定例会議等を開催した。

1 審議・報告内容

- (1) 9月中行事予定
田村理事官から、9月中行事予定について報告を受けた。
- (2) 令和7年度夏季特別術科訓練及び函館方面柔道剣道大会の実施
田村理事官から、令和7年度夏季特別術科訓練及び函館方面柔道剣道大会の実施について報告を受けた。
- (3) 優良警察職員及び警察協力功労者等表彰式の実施
能戸監察官室長から、優良警察職員及び警察功労者等表彰式の実施について報告を受けた。
- (4) 7月中の苦情受理・措置状況
能戸監察官室長から、7月中の苦情受理・措置状況について報告を受けた。
- (5) 函館方面会計職員育成研修会の開催結果
宮部会計課長から、函館方面会計職員育成研修会について報告を受けた。

中田委員から「若手職員の離職防止にも繋がったとのことで、大変良い取組だと思う。職員がキャリアアップできるような研修、懇親会など、コミュニケーションの場を設けてあげることも大切だと思うので、よろしく願いたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「事務職員に目を向けた大変素晴らしい取組だと思うので、是非とも継続していただきたい。」旨の発言があった。

- (6) 児童虐待合同研修会・不審者対応訓練の実施結果
徳田生活安全課長から、児童虐待合同研修会・不審者対応訓練の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「小児科では、児童の怪我やメンタル不調等によって虐待の兆候を把握するケースも多い。高齢者虐待も含め、医療機関を巻き込んだ更なる情報共有の強化や、中学校と連携した訓練の推進等にも配慮願いたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「素晴らしい取組だと思う。担当職員の中には、仕事がきつくて異動願いを出す者や、離職する者も多いと聞く。関係機関の連携によって、情報共有が図られるほか、相手の特性を理解したコミュニケーション技術の向上、職員の心理的負担の軽減等、様々な効果が得られると思うので、継続的な推進をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「函館方面では、警察、児相、病院の連携がしっかりと行われており、改めて、こうした研修や訓練が役立っているものと感じた。虐待死が発生すると、関係機関の対応が批判されるケースも多い。こうした事案を防ぐため、警察が果たすべき役割は大きいと思うので、積極的な関与を継続願いたい。」旨の発言があった。

- (7) 管内鉄道各社との連絡協議会の開催
鎌田地域課長から、管内鉄道各社との連絡協議会の開催について報告を受けた。
- (8) 刑事関係主要事件発生・検挙状況
小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況について報告を受けた。
- (9) 令和7年夏の交通安全運動の実施結果
河奥交通課長から、令和7年夏の交通安全運動の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「飲酒運転で処分される若者が多くて驚いている。大学生に対する交通安全教育の推進、飲食店への注意喚起ポスターの掲示依頼等、各種取組の継続をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「交通機動隊を筆頭に、飲酒運転の取締りを強力に推進していただき、結果として、被処分者数も多くなっているものと思う。引き続き、飲酒運転撲滅に向けた各種取組の推進をお願いしたい。」旨の発言があった。

- (10) カムチャッカ半島付近の地震による津波警報対応結果
宮本警備課長から、カムチャッカ半島付近の地震による津波警報対応結果について報告を受けた。

中田委員から「警報の発令に伴い、市立病院が閉鎖されており、期間が長引くことで、患者が病院に来れない、来ても帰れないという事態の発生も懸念される。そうした住民の避難誘導や、警察官自身が罹災しないための方策等、あらゆる事態を想定した訓練を継続的に推進していく必要があると感じた。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「列車が止まり、行き場を無くした多くの観光客が駅前にたむろしている状況があった。「津波は来ない」という楽観的な予測に基づく行動と思われるが、仮に津波が来た場合、被害が大きくなった可能性もある。住民の意識向上も含め、様々な対策を進めていく必要があると感じた。」旨の発言があった。

(11) 開港166周年記念函館港まつりに伴う雑踏警備結果

宮本警備課長から、開港166周年記念函館港まつりに伴う雑踏警備結果について報告を受けた。

中田委員から「パレードに参加させていただいたが、混乱もなく、交通整理もしっかりと行われており、大変感心した。引き続き、よろしくお願いしたい。」旨の発言があった。

(12) 第27回参議院議員通常選挙に伴う選挙警護の実施結果

宮本警備課長から、第27回参議院議員通常選挙に伴う選挙警護の実施結果について報告を受けた。

齋藤委員長から「要人警護をはじめ、津波警報への対応、お祭りの雑踏警備など、大変な任務が続いていたが、いずれも的確に対応していただいた。この先も大きなイベントは続くので、引き続き万全な対応をお願いしたい。」旨の発言があった。

2 北海道公安委員会委員の発言内容

吉本委員長から「大変活発な会議であった。特殊詐欺等対策、ヒグマへの対応、インバウンドを含む観光への対応、豪雨などの気候変動に関する問題等、警察には、幅広い事象への対応が求められている。今後も、方面公安委員会と方面本部がしっかりと連携し、協調しながら、北海道の安全・安心の実現に向けた取組を推進していただきたい。また、北海道公安委員会としても、方面公安委員会との更なる連携強化を図っていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。」旨の発言があった。

山村委員から「各種取組に地域住民の方々の参加が感じられることに感心した。こうしたものは、地域によって温度差があると思うが、函館方面では、警察と地域住民が協働し、一体となって進められている取組が多く、大変参考になった。」旨の発言があった。

倉本委員から「他の専門機関と連携した取組が多いことに感心した。児童虐待という学校だけでは解決が難しい問題に対処するため、警察をはじめ、児相、病院等の地域ネットワークが構築されているが、これらをしっかりと機能させるには、関係機関が日頃から連携し、コミュニケーションを図っておくことが大切であることを改めて感じた。」旨の発言があった。

3 決裁・報告等内容

(1) 運転免許の効力の停止等の処分を行う場合における処分量定基準に関する規程の一部改正について報告を受け、決裁を行った。

(2) 令和7年度実地監査実施計画について報告を受け、決裁を行った。

(3) 交通誘導警備業務における検定合格警備員の配置が必要な幹線道路の指定に係る告示について報告を受け、決裁を行った。

以 上